

# スキルマトリクス

2023年6月28日現在

氏名 (役員在任年数)	役職	2022年度 取締役会※ (出席状況)	2022年度 経営諮問委員会※ (出席状況)	監査役会 (出席状況)※	企業経営	ブランド戦略	フードテック	サステナビリティ	構造改革	財務・会計	リスク・法務
安藤 宏基(49年)	代表取締役社長・CEO	◎ 10/10回	○ 4回/4回	-	○	○	○	○	-	-	-
安藤 徳隆(15年)	代表取締役副社長・COO	○ 10/10回	○ 4回/4回	-	○	○	○	-	○	-	-
横山 之雄(13年)	取締役・CSO兼常務執行役員	○ 10/10回	オブザーバー	-	-	-	-	-	○	○	○
小林 健(12年)	社外取締役	○ 9/10回	-	-	○	-	-	○	-	-	○
岡藤 正広(12年)	社外取締役	○ 9/10回	-	-	○	○	-	-	-	-	○
水野 正人(7年)	社外取締役	○ 10/10回	◎ 4回/4回	-	○	○	-	○	-	-	-
中川 有紀子(4年)	社外取締役	○ 10/10回	○ 4回/4回	-	-	-	-	○	○	-	-
櫻庭 英悦(3年)	社外取締役	○ 10/10回	○ 4回/4回	-	-	-	○	○	-	-	-
小笠原 由佳(1年)	社外取締役	○ 7/7回	○ 2回/2回	-	-	-	-	○	-	○	-
澤井 政彦(5年)	常勤監査役	○ 10/10回	-	◎ 12/12回	-	-	-	-	-	○	-
亀井 温裕(4年)	常勤社外監査役	○ 10/10回	オブザーバー	○ 12/12回	-	-	-	-	-	○	○
道 あゆみ(新任)	社外監査役	-	オブザーバー	-	-	-	-	-	-	-	○

(注)◎は議長・委員長を表す。  
※2022年度の出席状況に基づき記載

## 各スキルの内容・選定理由

スキル	内容・選定理由	
企業経営	事業環境が大きく変化する中、中長期的に持続的な成長戦略を策定し、実行するためには、企業経営全般に関する、確かな知識・経験・実績が必要である。	
ブランド戦略	グローバルブランドと呼べるステージに到達した「CUP NOODLES」のコアバリューと、海外エリア別の競争優位性をさらに明確化・確立するとともに、日本国内のような成熟市場にあっても着実に増収増益を重ね、中長期的に成長し続けるためには、ブランド戦略に関する、豊富な知識・経験が必要である。	
フードテック	①当社の高い技術力のさらなる進歩・発展、②先進技術を取り入れた安全・安心で高品質な製品の安定的な供給の実現、③FUTURE FOOD CREATORとして、クリエイティブとフードテックを駆使した新たな食文化の創造・新規事業の展開の実現、をそれぞれ達成するには、食品分野における様々なイノベーションを起こせる知見や、品質・生産・技術開発の各分野における、確かな知識・経験が必要である。	
サステナビリティ	ビジョンの実現と持続的成長に向けた、CSV経営を推し進め、有限資源の有効活用と気候変動インパクト軽減へのチャレンジ（EARTH FOOD CHALLENGE 2030）を実現するためには、サステナビリティ分野における、豊富な知識・経験が必要である。	
構造改革	人材・組織	戦略を実行し新しい食の文化を創造し続けるイノベティブな組織を実現し、日清流の変革ロードマップを定義・実行していくためには、人材・組織分野における、豊富な知識・経験が必要である。
IT	IT技術が目まぐるしく変化する環境の中で、純粋なデジタル化に留まらないビジネスモデル自体の変革を目指した全社活動テーマNBX（NISSIN Business Transformation）を推し進めるためには、デジタル分野における、豊富な知識・経験が必要である。	
財務・会計	正確な財務報告はもちろん、強固な財務基盤を構築し、持続的な企業価値の向上に向けた成長投資の推進と、株主還元強化を実現する財務戦略の策定には、財務・会計分野における、確かな知識・経験が必要である。	
リスク・法務	持続的な企業価値向上の基盤である適切なガバナンス体制を確立するとともに、当社の使命である、食品の安定的な供給を実現するためには、リスク管理やコーポレート・ガバナンス、法律の各分野における、確かな知識・経験が必要である。	

これらのスキルはいずれも当社の経営にとって重要と考えるものでありますが、その中での優先順位も勘案した記載順にしております。